

健康生活支援課

IV 健康生活支援課の業務概要

1. 健康危機管理事業

地域における健康危機管理の拠点として、平常時は感染症・食中毒・飲料水等による健康危機の発
生予防に努めるとともに、健康危機発生時には、速やかに健康危機管理体制に移行し、情報の収集、
原因の究明のための調査及び検査の実施、医療の確保、健康相談窓口の開設等の対策を実施した。

エボラ出血熱やMER S（中東呼吸器症候群）への対策として、患者発生時を想定し、感染症指定
医療機関と合同で患者移送訓練を実施した。また、地域健康危機推進会議を開催し海外で発生してい
るMER S（中東呼吸器症候群）やデング熱等の蚊媒介感染症の国内発生時の対応について、警察署、
消防署、管内市町等関係機関に周知し連携の強化を図った。さらに、MER S（中東呼吸器症候群）
とジカウイルス感染症の講演会を開催し、医療機関や関係機関に対しての知識の普及や予防策等の啓
発を図った。

所内対応として、職員を対象とした防護服の着脱訓練を実施し、感染防御の向上を図った。

2. 疾病対策事業

(1) 結核予防事業

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、結核患者で排菌者が発生した
場合には、まん延を防止するため応急入院勧告、就業制限勧告等を行うとともに、積極的疫学調査に
よる接触者健診を実施し、発見された発病者、感染者への治療の徹底と要観察者への指導を行った。

また、結核患者の病状管理及び治療中断防止のため訪問・面接指導・DOTSを行うとともに、治療終
了後も管理検診による再発者の確認に努めた。

(2) 感染症予防事業

感染症発生時には速やかに医療機関と連携を図り、有症者・接触者の健康状況調査、検便及び環境
調査等を実施し、感染の拡大防止・感染経路の調査を行った。

健康危機管理事業としてエボラ出血熱とMER S（中東呼吸器症候群）の発生時の患者移送訓練や
MER S（中東呼吸器症候群）とジカウイルス感染症の講演会を開催し、医療機関や関係機関に対して
知識の普及や予防策等の啓発を図った。

法の趣旨を踏まえ平常時の防疫対策として、食品関係従事者、集団給食従事者、水道施設従事者等
に定期検便の実施を勧奨した。

(3) エイズ予防対策事業

個人のプライバシーに配慮した相談体制と検査体制を充実させるとともに、主に若年層を対象に講
習会やキャンペーン活動等をとおして、普及啓発活動を行った。

(4) 肝炎治療特別促進事業

B型ウイルス性肝炎及びC型ウイルス性肝炎の治療を目的として、平成20年度からインターフェロ
ン治療、平成22年度から核酸アナログ製剤治療、平成23年度からインターフェロン3剤併用療法へ
の医療費助成制度が開始され、窓口相談・申請手続き業務を行っている。平成26年度にはインターフ
ェロンフリー治療が助成対象となり、助成対象薬剤が拡充されたことに伴い、対象者が増加している
状況である。

(5) 指定難病対策事業

原因不明で治療方法が確立していない特定疾患56疾患の患者に対し、医療費の自己負担を助成して
いたが、「難病の患者に対する医療等に関する法律」（難病法）に基づく医療費助成制度が平成27年1
月1日に施行された。それに伴い対象疾患は110疾患に拡充され、さらに同年7月1日には、306疾
患に拡大した。

また、これらの患者やその家族が抱える医療や療養生活に関する問題等に対し、専門医による相談、保健師等による訪問指導や窓口相談を実施した。

(6) 原爆被爆者対策事業

被爆者の健康増進を図るため、被爆者健康診断及び健康相談を年2回実施し、健康の保持増進を図った。

3 生活衛生事業

(1) 食品衛生事業

当センター管内では、温暖な気候を利用した観光用の花卉栽培が盛んで早春から多くの観光客が訪れ、夏期には避暑や海水浴等を目的とした観光客で賑わう。そのため、海浜地区を中心として多くのホテル、旅館等の宿泊施設が営業している。

近年はいわゆる道の駅等地域の特産物を販売する大型観光地施設が増加するとともに、ショッピングモールや大型スーパーマーケットの進出も見られ、多種多様な食品が流通する一方で、小規模小売店舗や季節営業の簡易宿所が減少している。

このような状況の中、食品等営業施設に対して地区別に一斉監視を実施するとともに、業種別、施設別の重点監視を実施し、食品衛生管理の徹底指導及び自主衛生管理の強化促進を図った。

また、食品営業者や消費者に対し食中毒予防や食品表示等に関する講習会を開催し、食品衛生の普及向上を図った。

(2) 狂犬病予防事業及び動物愛護管理事業

① 狂犬病予防事業

狂犬病予防法及び千葉県動物の愛護及び管理に関する条例に基づき下記の業務を実施した。

- ア 放し飼い禁止の啓発と違反飼主への指導
- イ 不適正な飼養に起因する苦情への対応
- ウ 放浪犬・逸走犬の捕獲抑留及び飼養者への返還と指導
- エ 犬による咬傷事故を未然に防ぐための指導
- オ 咬傷犬の狂犬病の病性鑑定、再発防止のための措置

② 動物愛護管理事業

動物への愛護精神と適正な飼養管理について県民への普及を図り、殺処分数の減少、遺棄、虐待の防止、また、動物による侵害防止を目的に「動物の愛護及び管理に関する法律」と千葉県動物の愛護及び管理に関する条例に基づき、下記の業務を実施した。

- ア 住民へ適正飼養の普及啓発、多頭飼養届及び指導
- イ 負傷動物の保護・収容
- ウ 飼えなくなった犬・ねこの引取り及び終生飼養の指導
- エ 動物取扱業の登録届出及び指導
- オ 特定動物飼養の許可及び適正飼養の確認
- カ 犬猫の多頭飼養届及び現地確認
- キ 「動物愛護教室」「犬の正しい飼い方・しつけ方教室」の開催
- ク 出会いの場広報（インターネットを利用した新しい飼主探し）

(3) 環境衛生事業

地域住民や観光客等多くの人々が利用する旅館、公衆浴場、理容所、美容所、クリーニング所等の生活衛生関係営業施設のほか、水道施設、特定建築物、プール、温泉等に対して監視指導を実施した。

管内には年間を通じて観光客が訪れるため従前から旅館が多く、また温泉も多く存在し旅館や公衆浴場等の入浴施設で利用されていることから、レジオネラ症発生防止対策として、特に浴槽水等水質検査の実施及び循環ろ過装置の適正管理を指導した。

1 結核予防事業

(1) 管内結核患者登録者数の動向

表1－(1) 登録者数の年次推移

(単位：人)

区分		年						
		平成 13年	平成 18年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年
管内人口		145,688	140,199	134,804	133,250	131,420	129,753	128,510
新登録患者数		36	35	25	21	34	21	20
年末時登録者数		74	98	54	56	58	64	58
結核死亡者数	管内	-	5	-	1	3	2	2
	千葉県	78	86	67	51	69	83	68
結核死亡率 (人口10万対)	管内	-	3.6	-	0.8	2.3	1.5	1.6
	千葉県	1.5	1.7	1.3	1.0	1.3	1.6	1.3
罹患率 (人口10万対)	管内	24.7	25.0	18.5	15.8	25.9	16.2	15.6
	千葉県	23.2	20.0	16.3	14.1	14.8	13.8	13.7
有病率 (人口10万対)	管内	18.5	20.0	9.6	15.8	19.0	9.2	7.0
	千葉県	25.4	14.6	11.4	8.9	9.5	8.8	9.0

(注) ①人口は各年10月1日千葉県常住人口による。

②千葉県のデータには千葉市を除く。

③新登録患者及び登録者数は、無症状病原体保有者・疑似症患者を除く。

④罹患率：新登録活動性結核患者数×10万 /人口

有病率：年末時活動性結核患者数×10万 /人口

(2) 新登録患者数

表1-(2) 新登録患者数(活動性分類別)

(単位：人)

年 市町村	区分	総 数	活 動 性 結 核				肺 活 外 結 核 性	(罹 患 率 (人 口 10 万 対)	占 塗 肺 め る 抹 結 割 合 陽 核 (%) の 性 ち	無 症 状 病 原 体 保 有 者 (潜 在 性 結 核 感 染 症)	疑 似 症 患 者	の 結 核 死 亡 者 体 者	の 結 核 死 亡 疑 い 者 体 者
			計	活 動 性 肺 結 核									
				陽 喀 痰 塗 性 抹	結 核 菌 陽 性 の	そ の 他 の 他 性							
平成 25 年		34	25	16	6	3	9	25.9	64.0	22	-	-	-
平成 26 年		21	15	11	1	3	6	16.2	73.3	48	-	-	-
平成 27 年		20	15	8	6	1	5	15.6	53.3	17	-	-	-
館 山 市		6	4	2	2	-	2	12.6	50.0	1	-	-	-
鴨 川 市		6	4	2	2	-	2	17.7	50.0	9	-	-	-
南 房 総 市		6	5	3	2	-	1	15.4	60.0	5	-	-	-
鋸 南 町		2	2	1	-	1	-	24.9	50.0	2	-	-	-

(3) 年末時登録者数 (活動性分類別)

表1-(3) 年末時登録者数(活動性分類別)

(単位：人)

年 市町村	区分	総 数	活 動 性 結 核				肺 活 外 結 核 性	不 活 動 性 結 核	不 明	(有 病 率 (人 口 10 万 対)	無 症 状 病 原 体 保 有 者 (潜 在 性 結 核 感 染 症) (別 掲)	
			計	活 動 性 肺 結 核							治 療 中	観 察 中
				陽 喀 登 痰 録 塗 性 抹 時	結 核 菌 陽 性 の 時	そ の 他 の 他 性 時						
平成 25 年		58	18	12	5	1	7	22	11	19.0	20	144
平成 26 年		64	10	7	1	2	2	34	18	9.2	34	67
平成 27 年		58	7	5	1	1	1	26	24	6.2	15	81
館 山 市		19	2	1	1	-	-	9	8	4.2	3	20
鴨 川 市		14	-	-	-	-	-	5	9	-	8	40
南 房 総 市		18	3	3	-	-	1	10	4	10.2	4	18
鋸 南 町		7	2	1	-	1	-	2	3	24.9	-	3

(4) 新登録患者数 (年齢階級別)

表1-(4) 新登録患者数(年齢階級別)

(単位:人)

年 市町村	区分	総 数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
			9 歳	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳	89 歳	90 歳 以 上
平成 25 年		34	-	-	-	4	2	2	2	9	11	4
平成 26 年		21	-	-	1	1	2	3	1	4	6	3
平成 27 年		20	-	-	1	1	1	-	3	4	7	3
館山市		6	-	-	-	-	-	-	-	2	3	1
鴨川市		6	-	-	1	-	1	-	1	1	1	1
南房総市		6	-	-	-	1	-	-	1	-	3	1
鋸南町		2	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-

(5) 年末時登録者数 (年齢階級別)

表1-(5) 年末時登録者数(年齢階級別)

(単位:人)

年 市町村	区分	総 数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
			9 歳	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳	89 歳	90 歳 以 上
平成 25 年		58	1	-	-	7	7	5	8	12	15	3
平成 26 年		64	1	-	1	7	6	7	8	14	17	3
平成 27 年		58	1	-	2	4	5	5	8	10	16	7
館山市		19	-	-	-	1	2	2	2	5	5	2
鴨川市		14	1	-	1	1	1	1	2	2	4	1
南房総市		18	-	-	-	1	2	2	3	1	5	4
鋸南町		7	-	-	1	1	-	-	1	2	2	-

(6) 患者面接実施状況

表1-(6) 患者面接実施状況

(単位:人)

年		区分	人数(人)	DOTS内容(延件数)											
				登録時喀痰塗抹陽性						喀痰塗抹陰性			潜在性結核		
				入院時			退院後			訪問面接	所内面接	電話・その他	訪問面接	所内面接	電話・その他
				訪問回数	左の内訳		訪問面接	所内面接	電話・その他						
初回	期間内	退院前													
平成25年度	保健師	5	57	16	37	4	117	11	23	94	12	41	65	8	52
	DOTS支援員	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成26年度	保健師	6	31	7	22	2	69	3	63	52	4	40	37	14	75
	DOTS支援員	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成27年	保健師	5	29	21	21	1	18	2	37	48	0	37	17	4	85
	DOTS支援員	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成27年	患者数(人)		14						1			17			

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

(7) DOTS実施状況

表1-(7) DOTS実施状況

(単位:人)

年		区分	全結核患者			潜在性結核感染症
				肺結核患者(再掲)		
				肺結核喀痰塗抹陽性患者(再掲)		
平成25年	実施者数	19	15	8	20	
	患者数※	20	15	8	28	
平成26年	実施者数	25	19	13	12	
	患者数※	28	19	13	20	
平成27年	実施者数	17	12	9	23	
	患者数※	18	13	9	46	

※前年の新登録患者数(転入者を含み、治療開始1ヶ月未満に死亡した者及び転出者を除く)。

(8) 結核接触者健康診断実施状況

ア 家族健診実施状況

表1-(8)-ア 家族健診実施状況

(単位：人)

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 (延件数)	実施項目 (延件数)					結 果 (実人数)					
					I G R A ※	ツ 反	エ ッ ク ス 線	喀痰検査		異 常 な し	発 病 の お そ れ	潜 在 性 結 核 感 染 症	要 医 療 ③	要 医 療 率 ③/② (%)	
								塗 抹	培 養						
平成25年度	58	58	100	91	26	5	60	-	-	84	2	3	-	-	
平成26年度	48	45	93.7	72	21	-	51	-	-	62	-	1	-	-	
平成27年	44	43	97.7	56	25	-	31	-	-	40	-	3	-	-	
保健所	/			33	11	-	22	-	-	25	-	-	-	-	
委託分				23	14	-	9	-	-	13	-	3	-	-	-
その他				-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-

※保健所採血等による実施は保健所に，受診券による実施は委託分に計上

※平成27年度以降は年（1月1日～12月31日）で集計

イ 接触者健診実施状況

表1-(8)-イ 接触者健診実施状況

(単位：人、件)

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 (延件数)	実施項目 (延件数)					結 果 (実人数)				
					I G R A ※	ツ 反	エ ッ ク ス 線	喀痰検査		異 常 な し	発 病 の お そ れ	潜 在 性 結 核 感 染 症	要 医 療 ③	要 医 療 率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
平成25年度	354	351	99.2	440	223	19	198	-	-	314	13	23	1	0.3
平成26年度	166	160	96.4	197	136	-	61	-	-	150	-	10	-	-
平成27年	147	145	98.6	206	116	2	88	-	-	143	-	2	-	-
保健所	/			119	98	-	21	-	-	91	-	-	-	-
委託分				39	17	2	20	-	-	43	-	2	-	-
その他				48	1	-	47	-	-	9	-	-	-	-

※保健所採血等による実施は保健所に，受診券による実施は委託分に計上

※平成27年度以降は年（1月1日～12月31日）で集計

(9) 管理健診実施状況

表1-(9) 管理健診実施状況

(単位：人、件)

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 (延件数)	エックス線撮影	喀痰検査		結果(実人数)			
						塗抹	培養	観察不要	経過観察	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
平成25年度	198	171	86.4	271	267	4	4	20	151	-	-
平成26年度	203	166	81.8	209	206	3	3	91	75	-	-
平成27年	119	99	83.2	148	145	3	3	19	80	-	-
保健所	/			33	33	-	-	4	20	-	-
委託分				75	72	3	3	10	38	-	-
その他				40	40	-	-	5	22	-	-

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

(10) 結核医療費公費負担診査状況

表1-(10)-ア 通院患者に対する結核医療費公費負担診査状況(37条の2) (単位：件)

区分 年	総数			被用者保険						国民健康保険			後期高齢者			生活保護法			その他		
				本人			家族			保 険											
	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格
平成25年度	98	97	1	48	48	-	2	2	-	19	19	-	28	27	1	1	1	-	-	-	-
平成26年度	119	119	-	61	61	-	10	10	-	28	28	-	16	16	-	4	4	-	-	-	-
平成27年	75	75	-	35	35	-	6	6	-	10	10	-	24	24	-	-	-	-	-	-	-

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

表1-(10)-イ 入院患者に対する結核医療費公費負担状況(37条) (単位：件)

区分 年	総数			被用者保険						国民健康保険			後期高齢者			生活保護法			その他		
				本人			家族			保 険											
平成25年度	27			2			-			6			18			-			1		
平成26年度	28			-			-			9			17			2			-		
平成27年	10			1			1			-			8			-			-		

※本表は実人数で計上

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

(11) 就業制限通知及び入院勧告並びに入院措置数

表1-(11)-ア 就業制限通知数 (単位:件)

区分 年	総数
平成25年度	27
平成26年度	9
平成27年	11

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

表1-(11)-イ 入院勧告数 (単位:件)

区分 年	応急入院勧告数 (19条第1項)	入院勧告数 (20条第1項)	入院延長通知数 (20条第4項)
平成25年度	27	27	32
平成26年度	9	9	19
平成27年	11	10	13

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

表1-(11)-ウ 入院措置数

(単位:件)

区分 年	入院措置数
平成25年度	-
平成26年度	-
平成27年	-

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

(12) ツベルクリン反応検査・IGRA検査実施状況

表1-(12)-ア ツベルクリン反応検査実施状況

(単位:件)

年	ツ反検査数(延件数)		発赤径			被検者の年齢		
	保健所	委託分	陰性	30mm未満	30mm以上	未就学児	小学生	その他
平成25年度	24	2	3	-	-	3	-	-
平成26年度	-	-	-	-	-	-	-	-
平成27年	-	2	1	1	-	2	-	-

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

表1-(12)-イ IGRA検査実施状況 (単位:件)

年	IGRA検査数(延件数)		結 果			
	保健所	委託分	陰性	判定保留	陽性	判定不可
平成25年度	241	9	206	16	27	1
平成26年度	124	18	115	15	12	-
平成27年	109	31	130	4	6	-

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

(13) エックス線検査実施状況

表1-(13) エックス線検査実施状況

(単位:件)

年	総 数		接 触 者		管 理	
	保健所	委託分	保健所	委託分	保健所	委託分
平成25年度	122	293	105	70	17	223
平成26年度	78	278	52	78	26	200
平成27年	76	101	43	29	33	72

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

(14) 定期結核健康診断実施報告状況

表1-(14) 定期結核健康診断実施報告状況

(単位：人)

年 区分	項目	対象者数 ①	健診者数 ②	健診率 ②/① (%)	間接撮影 件数	直接撮影 件数	喀痰検査 件数	発病のおそれ がある者の 数	患者発見 数③	患者発見 率 ③/② (%)
	平成25年度		58,738	22,447	38.2	14,395	8072	20	10	-
平成26年度		58,452	19,806	33.9	15,078	4,667	9	-	-	-
平成27年		59,496	20,065	33.7	14,892	5,173	12	-	-	-
内 訳	学校長 (高校以上の生徒・学生)	1,069	1,068	99.9	1,023	45	1	-	-	-
	施設長 福祉施設入所者 (65歳以上)	1,122	1,084	96.6	323	761		-	-	-
	施設長 その他施設 入所者	109	92	84.4	25	67		-	-	-
	事業者	6,209	5,940	95.6	1,640	4,300	11	-	-	-
	市町村長	50,987	11,881	23.3	11,881	-	-	-	-	-

※平成27年度以降は年(1月1日～12月31日)で集計

2 感染症予防事業

(1) 1類感染症発生状況

表2- (1) 1類感染症発生状況

(単位：人)

年	疾患名	人数	市町村
平成27年	-	-	-

(2) 2類感染症発生状況(結核は除く)

表2- (2) 2類感染症発生状況

(単位：人)

年	疾患名	人数	市町村
平成27年	-	-	-

(3) 3類感染症発生状況

表2- (3) 3類感染症発生状況

(単位：人)

年・市町村	病類 総数	病類				
		コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性 大腸菌 感染症	腸チフス	パラチフス
平成25年	5	-	-	5	-	-
平成26年	1	-	-	1	-	-
平成27年	3	-	-	3	-	-
館山市	-	-	-	-	-	-
鴨川市	1	-	-	1	-	-
南房総市	1	-	-	1	-	-
鋸南町	1	-	-	1	-	-
その他 (管外)	-	-	-	-	-	-

(4) 4類感染症発生状況

表2-(4) 4類感染症病発生状況

(単位:人)

疾患名	平成25年	平成26年	平成27年
1 E型肝炎	-	-	-
2 ウエストナイル熱	-	-	-
3 A型肝炎	-	-	-
4 エキノコックス症	-	-	-
5 黄熱	-	-	-
6 オウム病	-	-	-
7 オムスク出血熱	-	-	-
8 回帰熱	-	-	-
9 キャサヌル森林病	-	-	-
10 Q熱	-	-	-
11 狂犬病	-	-	-
12 コクシジオイデス症	-	-	-
13 サル痘	-	-	-
14 ジカウイルス感染症	-	-	-
15 重症熱性血小板減少症候群(病原体がフ レボウイルス属SFTSウイルスであ るものに限る。)	-	-	-
16 腎症候性出血熱	-	-	-
17 西部ウマ脳炎	-	-	-
18 ダニ媒介脳炎	-	-	-
19 炭疽	-	-	-
20 チグングニア熱	-	-	-
21 つつが虫病	10	10	13
22 デング熱	1	1	-
23 東部ウマ脳炎	-	-	-
24 鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9)を除く)	-	-	-
25 ニパウイルス感染症	-	-	-
26 日本紅斑熱	2	5	5
27 日本脳炎	-	-	-
28 ハンタウイルス肺症候群	-	-	-
29 Bウイルス病	-	-	-
30 鼻疽	-	-	-
31 ブルセラ症	-	-	-
32 ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
33 ヘンドラウイルス感染症	-	-	-
34 発しんチフス	-	-	-
35 ボツリヌス症	-	-	-
36 マラリア	-	-	-
37 野兎病	-	-	-
38 ライム病	-	-	-
39 リッサウイルス感染症	-	-	-
40 リフトバレー熱	-	-	-
41 類鼻疽	-	-	-
42 レジオネラ症	6	4	2
43 レプトスピラ症	-	-	-
44 ロッキー山紅斑熱	-	-	-

※14の疾患は平成28年2月より届出の対象となった。

(5) 5類感染症発生状況

ア 感染症発生動向調査事業に基づく全数把握対象感染症

表2- (5) -ア 5類感染症発生状況

(単位：人)

疾患名		平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
1	アメーバ赤痢	3	1	-
2	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	-	1	-
3	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	-	1	2
4	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	-	-	1
5	クリプトスポリジウム症	-	-	1
6	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	2	1
7	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	-	1
8	後天性免疫不全症候群	4	1	-
9	ジアルジア症	-	-	-
10	侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	1	-
11	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-
12	侵襲性肺炎球菌感染症	8	5	14
13	水痘(入院例に限る。)	-	-	-
14	先天性風しん症候群	-	-	-
15	梅毒	5	5	2
16	播種性クリプトコックス症	-	-	1
17	破傷風	2	-	1
18	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-
19	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	-
20	風しん	9	-	-
21	麻しん	-	-	-
22	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-

※3, 13, 16の疾患は平成26年9月より届出の対象となった

イ 感染症発生動向調査事業に基づく定点報告状況

(ア) 患者定点

a 患者定点医療機関

表2-(5)-イ-(ア)-a 患者定点医療機関数

(単位：箇所)

インフルエンザ	小 児 科	眼 科	性 感 染 症	基 幹	疑 似 症
7	4	1	1	1	7

b 定点把握対象疾患

表2-(5)-イ-(ア)-b 定点把握対象疾患状況

(単位：人)

疾患名	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
1 インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)	1551	1694	1464
2 RS ウイルス感染症	11	11	6
3 咽頭結膜熱	3	9	5
4 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	132	31	43
5 感染性胃腸炎	546	524	341
6 水痘	103	71	38
7 手足口病	182	69	71
8 伝染性紅斑	1	7	39
9 突発性発しん	40	43	21
10 百日咳	—	3	—
11 ヘルパンギーナ	24	54	69
12 流行性耳下腺炎	15	32	54
13 急性出血性結膜炎	—	1	2
14 流行性角結膜炎	36	37	25
15 性器クラミジア感染症	1	1	—
16 性器ヘルペスウイルス感染症	—	1	—
17 尖圭コンジローマ	1	—	—
18 淋菌感染症	—	1	—
19 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)	—	—	—
20 クラミジア肺炎(オウム病を除く)	—	3	2
21 細菌性髄膜炎(髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。)	11	11	8
22 マイコプラズマ肺炎	—	1	2
23 無菌性髄膜炎	24	16	24
24 ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	67	45	17
25 メシチリン耐性黄色ブドウ菌感染	48	55	58
26 薬剤耐性緑膿菌感染症	3	1	3

(イ) 病原体定点

表 2 - (5) - イ - (イ) 病原体定点医療機関及び検体提供数 (単位: 箇所)

区 分	インフルエンザ	小 児 科	眼 科	基 幹
医療機関数 (箇所)	1	1	-	1
検体提供数 (件)	8	23	-	1

(6) その他

表 2 - (6) インフルエンザ様疾患届出状況 (単位: 件)

年度 区分	届 出 施設数	届 出 患者数	措 置			
			学 級 閉鎖数	学 年 閉鎖数	休校数	その他
平成 25 年度	96	908	33	59	4	-
平成 26 年度	64	570	27	37	-	-
平成 27 年度	51	506	17	34	-	-
幼 稚 園	1	8	-	1	-	-
小 学 校	35	333	9	26	-	-
中 学 校	13	156	6	7	-	-
高等学校	2	9	2	-	-	-
そ の 他	-	-	-	-	-	-

(7) 感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

ア 1類感染症

表 2 - (7) - ア 1類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

年度	病類	疾 患 名	調 査 (人)	検 査 (件)
平成 27 年度		-	-	-

イ 2類感染症

表 2 - (7) - イ 2類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況 (結核は除く)

年度	病類	疾 患 名	調 査 (人)	検 査 (件)
平成 27 年度		-	-	-

ウ 3類感染症

表2-(7)-ウ 3類感染症発生に伴う健康調査及び検便実施状況

(単位：調査(人)，検便(件))

病類 年度	総数		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		菌陽性者数
	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	
平成25年度	20	21	-	-	-	-	20	21	-	-	-	-	-
平成26年度	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
平成27年度	9	13	-	-	-	-	9	13	-	-	-	-	2

エ 4類感染症

表2-(7)-エ 4類感染症健康調査状況

(単位：人)

区分	疾患名	調査
平成27年度	つつが虫病	13
	日本紅斑熱	3

オ 5類感染症

表2-(7)-オ 5類感染症健康調査状況

(単位：人)

区分	疾患名	調査
平成27年度	インフルエンザ	165
	感染性胃腸炎	247

(8) 管外での感染症発生(疑いを含む)に伴う調査状況及び検便実施状況

表2-(8) 管外での感染症発生(疑いを含む)に伴う調査数及び検便実施数

(単位：調査(人))

区分 年度	総数	管外での感染症発生に伴う調査数 (検疫通報除く)	自主申告による調査数	接触者及び同行者調査数	検疫通報に伴う検査実施者数(件)	検出菌			
						コレラ	赤痢	O157	その他
平成25年度	1	1	-	-	1	-	-	-	-
平成26年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成27年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(9) 衛生研究所への確認検査依頼数

表2-(9) 衛生研究所への確認検査依頼数 (単位: 件)

区 分	疾 患 名	結 果		計
		陽 性	陰 性	
平成 27 年度	-	-	-	-

(10) 就業制限通知数 (結核を除く)

表2-(10) 就業制限通知数 (単位: 件)

年度	疾 患 名			計
	腸管出血性大腸 菌感染症	細菌性赤痢	腸チフス	
平成 25 年度	2	-	-	2
平成 26 年度	-	-	-	-
平成 27 年度	3	-	-	3

(11) 感染症予防啓発活動実施状況

表2-(11) 感染症予防啓発活動実施状況

実施日	場 所	テ ー マ	実施対象	参加人数 (人)
9月16日	館山市コミュニ ティセンター第1集 会室	感染症予防と対応	館山市ヘル パー連絡協 議会研修会	24
11月11日	小規模特別養護老 人ホーム 「夕風の郷」2 階食堂兼機能訓練 室	ノロウイルス感染症に関す る研修会	職員	20
12月7日	休暇村館山 会議 室	感染性胃腸炎・インフルエン ザに対する感染対策	休暇村館山 従業員研修	21
12月11日	館山シーサイドホ テル	園における感染症対策につ いて	保育園長	29
12月15日	特別養護老人ホー ムリブ丸山1階デ イサービス	施設における感染症対策	職員	15

3 エイズ対策事業

(1) エイズ予防啓発活動実施状況

ア 講演会・講習会等開催状況

表3-(1)-ア 講演会・講習会等実施状況

実施日	場 所	活動内容	テ ー マ	対 象	参加人数 (人)
平成27年 6月24日(水)	南房総市立 千倉中学校	講習会 講師：亀田ファミリークリニック館山 医師	エイズ・性感染症予防	南房総市立千倉中学校 3年生 教職員	71
平成27年 7月3日(金)	館山市立 館山第二中学校	講習会 講師：ファミリー産院 看護師	大切にしたい自分・こころ・からだ	館山市立館山第二中学校 3年生 教職員	120
平成27年 7月8日(水)	南房総市立 富山中学校	講習会 講師：ファミリー産院 看護師	大切にしたい自分・こころ・からだ	南房総市立富山中学校 2、3年生 教職員	79
平成27年 7月9日(木)	千葉県立安房特別支援学校	講習会 講師：助産院ねむねむ 助産師	大切にしたいこころとカラダ	千葉県立安房特別支援学校 高等部1、2年生・教職員	45
平成27年 7月14日(火)	鋸南町立 鋸南中学校	講習会 講師：同愛記念病院 助産師	思春期健康講座	鋸南町立鋸南中学校 3年生・教職員	74
平成27年 7月14日(火)	国立館山海上技術学校	講習会 講師：同愛記念病院 助産師	思春期健康講座	国立館山海上技術学校 3年生・教職員	37
平成27年 10月28日(水)	安房西高等学校	講習会 講師：亀田総合病院 医師	性感染症予防について	安房西高等学校 2年生・教職員	109
平成27年 12月9日(水)	南房総市立 三芳中学校	講習会 講師：助産院ねむねむ 助産師	知っておきたい10代の自分の心とカラダ	南房総市立三芳中学校 1～3年生・教職員	107

平成27年 12月17日(木)	千葉県立館山総合高等学校	講習会 講師：亀田総合病院 産科医師	自分と相手を大切にするって？ ～えんみちゃんからのメッセージ～	千葉県立館山総合高等学校 1～3年生 教職員	514
平成27年 12月17日(木)	南房総市立嶺南中学校	講習会 講師：亀田総合病院 医師	自分と相手を大切にするって？ ～えんみちゃんからのメッセージ～	南房総市立嶺南中学校 3年生・保護者 教職員	88
平成27年 12月17日(木)	千葉県立長狭高等学校 (定時制)	講習会 講師：助産院ねむねむ 助産師	10代の性に大切なこと	千葉県立長狭高等学校定時制 1～4年生 教職員	30
平成27年 12月18日(金)	千葉県立長狭高等学校 (全日制)	講習会 講師：同愛記念病院 助産師	ライフステージに応じた性感染症予防について	千葉県立長狭高等学校 2年生・教職員	167
平成27年 12月18日(金)	千葉県立安房拓心高等学校	講習会 講師：ファミリー産院 看護師	大切にしたい性と性	千葉県立安房拓心高等学校 1～3年生 教職員	499
平成28年 2月9日(火)	千葉県立安房特別支援学校館山豊分校	講習会 講師：助産院ねむねむ 助産師	知っておきたいエイズ等性感染症予防	千葉県立安房特別支援学校豊分校高等部 1～3年生 教職員	28
平成28年 2月25日(木)	千葉県安房合同庁舎	思春期保健指導者講習会 講師：JASH 日本性の健康協会	・子どもたちに伝えたい性のこと～男の子の性を中心に～ ・LGBTs も泣くし笑うし ・高校生へタイムトリップ！性の授業を体験しよう	思春期指導にかかわる学校関係者、医療機関関係者、管内・管外保健所職員	27

イ HIV 検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

表 3 - (1) - イ HIV 検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

実 施 日	主 な 内 容
平成 27 年 11 月 25 日～ 平成 27 年 12 月 18 日	学校訪問、リーフレット等配布 大学：城西国際大学観光学部、亀田医療大学 専門学校：亀田医療技術専門学校、安房医療福祉専門学校 高等学校：千葉県立安房高等学校、千葉県立館山総合高等学校、 千葉県立安房拓心高等学校、安房西高等学校 中学校：鴨川市立安房東中学校、南房総市立千倉中学校 小学校：鴨川市立小湊小学校、南房総市立千倉小学校 その他：安房特別支援学校、安房特別支援学校襲分校、国立館山海上技術学校

(2) エイズ相談受付状況

表 3 - (2) エイズ相談受付状況 (単位 : 件)

年度	性別	相談方法				合計
			男	女	小計	
平成 25 年度		電話相談	-	-	-	56
		来所相談	35	21	56	
		その他	-	-	-	
平成 26 年度		電話相談	-	-	-	84
		来所相談	55	29	84	
		その他	-	-	-	
平成 27 年度		電話相談	-	-	-	46
		来所相談	29	17	46	
		その他	-	-	-	

(3) HIV・性感染症・肝炎検査受付状況

表3-(3)-ア HIV検査受付状況

(単位：件)

年度 年齢階級		性別		合計	外国籍 者数(人)	確認検査 件数
		男	女			
平成25年度		29	19	48	1	1
平成26年度		50	24	74	1	-
平成27年度		27	17	44	1	-
年 齢 階 級	～19歳	1	1	2	-	-
	20歳～29歳	5	6	11	1	-
	30歳～39歳	13	5	18	-	-
	40歳～49歳	5	2	7	-	-
	50歳～59歳	1	2	3	-	-
	60歳～69歳	2	1	3	-	-
	70歳～	-	-	-	-	-
	不明	-	-	-	-	-

表3-(3)-イ 性感染症・肝炎検査受付状況

(単位：件)

検査 性別	クラミジア検査			梅毒血清検査			肝炎検査					
							C型肝炎検査			B型肝炎検査		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
平成25年度	47	28	19	47	28	19	51	29	22	48	28	20
平成26年度	72	47	25	72	47	25	78	51	27	78	51	27
平成27年度	43	25	18	43	26	17	48	28	20	48	28	20

※クラミジア検査は平成27年度から病原体検査, それ以前は抗体検査

※肝炎検査は肝炎対策事業として実施

4 肝炎治療特別促進事業

表4－(1) 肝炎治療特別促進事業受給者状況 (単位：人)

年度・市町村	治療 核酸アナログ 製剤	インターフェロン	インターフェロン フリー
平成 25 年	35	18	-
平成 26 年	37	30	8
平成 27 年	45	4	103
館 山 市	15	1	43
鳴 川 市	9	1	18
南 房 総 市	16	2	41
鋸 南 町	5	0	1

